

国際芸術祭「あいち 2022」ラーニング・プログラム 「アーティストによる美術史講座」の参加者を募集します

国際芸術祭「あいち 2022」では、幅広い層を対象とした様々なラーニング・プログラムを順次、実施していきます。

このたび、「参加プログラム」のひとつ「アーティストによる美術史講座」（全4回）の参加者を募集します。本講座は、国際的に活躍するアーティストの視点から「美術史」を読み解いていくレクチャープログラムです。個々の作品についての理解を深めると同時に、作品と作品のつながりを見出し、さまざまな切り口で美術の歴史をストーリーとして読み解く力を養います。

第1回目は、^{まじまたつお}真島竜男氏をゲストにお迎えし、国際芸術祭「あいち 2022」の参加アーティストである河原温の諸作を基点に、これまでの「あいちトリエンナーレ」で制作・展示された作品を上げ、作品が生まれてくる背景（土地や歴史）と作品が示すものの総体との関係について考えます。

1 講座の概要（第1回）

- (1) 日 時 2021年10月2日（土）14：00～16：00
（レクチャー90分程度、質疑応答）
- (2) 場 所 オンライン（Zoom ウェビナーを使ったライブ配信）
- (3) 定 員 50名（先着順）
- (4) ゲスト ^{まじま たつお}真島 竜男 氏（現代美術家）
- (5) 進行役 ^{あいだ だいや やまもと たかゆき}会田 大也、山本 高之
（国際芸術祭「あいち 2022」キュレーター（ラーニング））

※参加者募集は各回ごとに行います。

2 申込方法

国際芸術祭「あいち 2022」公式ウェブサイト 「ラーニング」ページ
（<https://aichitriennale.jp/learning/index.html>）よりお申し込みください
申込締切 2021年9月29日（水）



3 プログラム動画の配信について

実施したプログラムの動画を順次配信していく予定です。詳細は公式ウェブサイトの「ラーニング」ページ（<https://aichitriennale.jp/learning/index.html>）をご覧ください。

4 ゲストプロフィール



眞島 竜男 Majima Tatsuo

1970年東京都生まれ。滋賀県拠点。

写真、ビデオ、テキスト、パフォーマンス、レクチャー、粘土など様々なメディアを使った作品を制作。日本の近・現代アートがナショナル（国民的、国家的）なものとのように関わってきたのかを問い続ける。

近年の主な発表に、「山と群衆（大観とレニ）／四つの検討（TPAM 2019 Version）」blanClass（2019年、横浜）、「開く、折りたたむ、反転する、閉じる：河原温ダイアグラム」「ラレー街11番地のFoujita／藤田」豊田市美術館（2016年、愛知）、「岡山芸術交流 2016」岡山県天神山文化プラザ（2016年、岡山）、「PARASOPHIA：京都国際現代芸術祭 2015」京都市美術館（2015年、京都）がある。

【参考】「あいち 2022」ラーニング・プログラムについて

○参加プログラム

一般を対象とした公開プログラム

○スクール・プログラム

学校関係者（児童生徒・教員等）を対象としたプログラム

○ボランティア・プログラム

対話型鑑賞のファシリテーターや会場案内などのボランティア育成のためのプログラム

5 問合せ先

国際芸術祭「あいち」組織委員会事務局

（愛知県県民文化局文化芸術課国際芸術祭推進室内）

住 所 〒461-8525 名古屋市東区東桜一丁目 13-2 愛知芸術文化センター内

電 話 052-971-3111 FAX：052-971-6115

URL <https://aichitriennale.jp/>